熊本市に「熊本地震復旧・復興寄付金」1,000 万円を贈呈

11 月 11 日、熊本市役所本庁所 5 階・庁議室にてキリンホールディングス株式会社から熊本市への「熊本地震復旧・復興寄付金」の贈呈式が行われました。弊社では、グループとして熊本地震への復興支援への取り組み「復興応援 キリン絆プロジェクト」を展開しており、今回の寄付もその一環として行われました。

2016 年 11 月 11 日（熊本市役所本庁所 5 階・庁議室）

地域の活性化支援

熊本市への寄付金は、7 月 7 日に「熊本城災害復旧支援金」として 1,000 万円を贈呈したのに続き 2 度目となります。熊本地震の被災に対し、熊本城の復興と連動する中心市街地の活性化のために、「熊本地震復旧・復興寄付金」として 1,000 万円を贈呈しました。
式では、グループを代表してキリンビールマーケティング株式会社熊本支社長（現　キリンビール株式会社熊本支社長）麻生芳彦が、熊本市長大西一史様に目録を手渡しました。
大西熊本市長の受贈者あいさつに続いて、意見交換が行われました。そこでは、「一番搾り 熊本づくり」の全国発売や 1 本につき 10 円の寄付について、大西市長から実現に至った経緯などについて質問をいただきました。それに対し、キリン株式会社 CSV 推進部主幹 大北博一が、「全国のお客様からいただいた『飲んで熊本を応援したい』『一番搾り 熊本づくりはどこで買えるのか？』といった声が全国発売につながった」との説明を行いました。

コメント①

キリンビール株式会社　熊本支社長　麻生 芳彦

私自身、昨年４月に着任以来、熊本市で生活を送っています。住民の一人として、熊本地震発災直後から大西市長をはじめ職員の皆さまが、市民の人命救助や生活安定に不眠不休で当たられたことに深く感謝申し上げます。
キリングループでは、東日本大震災の復興支援の一環として「復興応援 キリン絆プロジェクト」を立ち上げ、熊本地震に際してもグループ各社一丸となって、被災地支援活動に取り組み、今後も微力ながら復興支援に尽力して参る所存です。プロジェクトには「食産業復興支援」「地域の活性化支援」「心と体の元気サポート」の３つの幹があります。今回の寄付金は、その一つである「地域の活性化支援」として、熊本市のシンボルで市民の誇りでもある熊本城と、それに連動する中心市街地の活性化にお役立ていただければと思います。またキリングループでは引き続き、地域のニーズを踏まえ、地域に寄り添った復興支援活動を行って参りますのでよろしくお願いいたします。

コメント②

熊本市長　大西 一史 様

本日は貴重な浄財を熊本市に寄付いただいたことを、市民を代表して厚く御礼申し上げます。キリングループでは熊本地震の被災地に対する義援金１億円を拠出され、そのうち７月には「熊本城災害復旧支援金」として 1,000 万円をご寄付いただきました。
さらに今回の寄付に加え、全国発売されている「一番搾り 熊本づくり」では１本につき 10 円が被災地の復旧・復興のための支援に充てられるとのことで、大変ありがたく思っております。個人的な話ですが、東京などの友人・知人が連日のように SNS で「一番搾り 熊本づくり」を飲んだよ」と、写真付きのメッセージを送ってくれます。そうした全国からの応援の気持ちが、寄付という形になるのもうれしい限りです。熊本市では、これまで以上に地域と行政が一丸となって、“新しい熊本づくり”に向けて頑張っていきたいと考えています。その中で、熊本城の復興と、それに連動した中心市街地の活性化を目的とした今回の「熊本地震復旧・復興寄付金」も、有効に活用して参ります。